

Calendar Plus JavaScript API

リファレンス

ラジカルブリッジ

Ver.20190306

目次

イベント処理の記述方法	2
イベント処理の概要	2
イベントハンドラーを登録する	3
特定のイベントタイプ内の特定のイベントハンドラーを削除する	5
特定のイベントタイプ内のすべてのイベントハンドラーを削除する	6
すべてのイベントハンドラーを削除する	7
カレンダー表示イベント	8
カレンダー画面の描画後イベント	8
イベントレコード描画時イベント	10
タイトル入カダイアログからのイベントレコード新規保存前イベント	11
マウสดラッグによるイベントレコード更新前イベント	13
コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント	14
コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント	15
イベントレコードクリックによる詳細画面遷移前イベント	16
イベントレコードのマウスオーバーイベント	17
イベントレコードのマウスアウトイベント	18
event オブジェクトで実行できる操作	19
フィールドの値を書き換える	19

「カレンダーPlus」はラジカルブリッジの登録商標です。
記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

イベント処理の記述方法

イベント処理の概要

カレンダーPlus で発生する様々なイベントについて、ハンドラーを紐付けして実行することができます。

イベントハンドラーを登録する

関数

```
calendarplus.events.on(eventType, handler(event));
```

プロパティ

パラメータ名	指定する値	必須	説明
eventType	文字列 または 文字列の配列	必須	イベントハンドラーをバインドする対象のイベントタイプ、またはイベントタイプの配列を指定します。
handler(event)	Function(Object)	必須	<p>イベント発生時に実行されるハンドラーです。event オブジェクトは共通で type プロパティにイベントタイプを持ちます。</p> <p>下記のイベントのハンドラー内で kintone.Promise オブジェクト※ を return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。また、false を return すると、後続の処理をキャンセルできます。</p> <ul style="list-style-type: none">・タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存前イベント・マウスドラッグによるイベントレコード更新前イベント・コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント・コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント・イベントレコードクリックによる詳細画面遷移前イベント <p>※kintone.Promise オブジェクトは、then メソッドを持っているオブジェクトです。</p> <p>▼参考(外部サイト)</p> <p>https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/JavaScript/Reference/Global_Objects/Promise</p>

戻り値

ありません

サンプルプログラム

```
// イベントハンドラーの登録を実行する
var handler = function(event) {
    console.log(event);
};
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {
    calendarplus.events.on('cp.calendar.show', handler);
});
```

特定のイベントタイプ内の特定のイベントハンドラーを削除する

関数

```
calendarplus.events.off(eventType, handler(event));
```

プロパティ

パラメータ名	指定する値	必須	説明
eventType	文字列 または 文字列の配列	必須	削除対象のイベントハンドラーを登録したイベントタイプ、またはイベントタイプの配列を指定します。
handler(event)	Function(Object)	必須	削除対象のイベントハンドラーです。 イベント登録時と同一のオブジェクトを指定します。

戻り値

- true : 一つでも削除に成功した場合
- false : 削除対象のイベントハンドラーが 1 つも見つからなかった場合

サンプルプログラム

```
// イベントハンドラーの削除を実行する
var handler = function(event) {
    console.log(event);
};
calendarplus.events.off('cp.calendar.show', handler);
```

特定のイベントタイプ内のすべてのイベントハンドラーを削除する

関数

```
calendarplus.events.off(eventType);
```

プロパティ

パラメータ名	指定する値	必須	説明
eventType	文字列 または 文字列の配列	必須	削除対象のイベントハンドラーを登録したイベントタイプ、またはイベントタイプの配列を指定します。

戻り値

- ・ true : 一つでも削除に成功した場合
- ・ false : 削除対象のイベントハンドラーが 1 つも見つからなかった場合

サンプルプログラム

```
// イベントハンドラーの削除を実行する  
calendarplus.events.off('cp.calendar.show');
```

すべてのイベントハンドラーを削除する

関数

```
calendarplus.events.off();
```

戻り値

- true : 一つでも削除に成功した場合
- false : 削除対象のイベントハンドラーが 1 つも見つからなかった場合

カレンダー表示イベント

カレンダー画面の描画後イベント

カレンダー画面の描画終了後に発生するイベントです。

- ・表示対象の日付範囲切り替え時や月別・週別・日別表示の切り替え時にもイベントが発生します。

※2019/3/6 現在、ドラッグ&ドロップによるイベントレコード更新時には当イベントが 2 回発生します。

イベントタイプ

cp.calendar.show

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

サンプルプログラム

```
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {  
  calendarplus.events.on('cp.calendar.show', function(event) {  
    alert("カレンダーが表示されました");  
  });  
});
```

イベントレコード描画時イベント

各イベントレコードの描画時に発生するイベントです。

イベントタイプ

cp.event.show

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs
element	オブジェクト	描画されたイベントレコードの jQuery 要素です。

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存前イベント

タイトル入力ダイアログからの新規イベントレコード保存前に発生するイベントです。

- ・ false を return すると保存処理をキャンセルできます。
- ・ kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.create.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

サンプルプログラム

```
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {  
  calendarplus.events.on('cp.event.create.submit', function(event) {  
    var title = event.record['タイトル']['value'];  
    console.log(title);  
    return event;  
  });  
});
```

マウストラッグによるイベントレコード更新前イベント

マウストラッグによるイベントレコードの日時やリソースの更新前に発生するイベントです。

- ・ false を return すると更新処理をキャンセルできます。
- ・ kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.edit.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
recordId	数値	レコード ID

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント

イベントレコードのコンテキストメニューから「複製」を選択してレコードを複製する前に発生するイベントです。

- ・ false を return すると複製処理をキャンセルできます。
- ・ kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.duplicate.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
recordId	数値	レコード ID

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント

イベントレコードのコンテキストメニューから「削除」を選択してレコードを削除する前に発生するイベントです。

- ・ false を return すると削除処理をキャンセルできます。
- ・ kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.delete.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
recordId	数値	レコード ID

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

イベントレコードクリックによる詳細画面遷移前イベント

イベントレコードをクリックして詳細画面に遷移する前に発生するイベントです。

- ・ false を return すると画面遷移をキャンセルできます。

イベントタイプ

cp.event.click

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
jsEvent	オブジェクト	クリック時のマウス座標などを保持した JavaScript のオブジェクトです。
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

イベントレコードのマウスオーバーイベント

イベントレコードにマウスオーバーした時に発生するイベントです。

イベントタイプ

cp.event.mouseover

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
jsEvent	オブジェクト	マウスオーバー時のマウス座標などを保持した JavaScript のオブジェクトです。
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

イベントレコードのマウスアウトイベント

イベントレコードからマウスアウトした時に発生するイベントです。

イベントタイプ

cp.event.mouseout

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
jsEvent	オブジェクト	マウスアウト時のマウス座標などを保持した JavaScript のオブジェクトです。
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

ハンドラーが record オブジェクトのフィールドの値を書き換えて event オブジェクトを return した場合、その値でフィールドの値を更新します。

- ・最後のハンドラーが return しない場合、フィールドの値を更新しません。
- ・複数のハンドラーが登録されている場合、最後のハンドラーが return した戻り値を基準に反映されます。
- ・その他注意事項・制限事項は、kintone REST API の制限事項（共通仕様の制限事項、レコードの登録（1 件）、レコードの更新（1 件））に準じます。

▼参考(外部サイト)

<https://developer.cybozu.io/hc/ja/articles/201941754>

サンプルプログラム

```
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {
  calendarplus.events.on('cp.event.create.submit', function(event) {
    event.record['タイトル']['value'] = '初期タイトル';
    return event;
  });
});
```